



会う場合有り。)



パトロール(普通の散歩)



近隣のパトロール(繫留をとりて)

### 3. モンキードッグの効果と問題点

- ①平川地区では、危険地域にサルが侵入する頻度が減少したとともに、一部ではサルの出没がなくなったが、モンキードッグが活動する地域を避け、他の農地等に出没するようになった。
- ②追貝地区では、2群のサルが出没していたが、出没が減少し農作物被害も昨年に比べて少なくなった。
- ③大楊地区では、昨年度は水稻の登熟期頃から田の近くの山林に居着いて、水稻に被害があったが、今年度はほとんど出没せず、群が居着くこともなかった。
- ④サルを発見すると追いかけて、群を山の上または横側に移動させることは可能であるが、地域の地形上の問題もあり、追い上げでなく追い払いに終わってしまう場合がある。
- ⑤サルを追っている時に吠えないため、犬の位置が不明となる。最初の頃は回収に1時間から2時間以上かかる場合があった。(現在は一定の距離を追いかけると元の位置に帰ってくるが多い。)
- ⑥不定期に多発するサルの出没情報に対し、全て出動することは不可能であるため、他の方法等を活用し、効果的な追い払いを実施する体制を検討する必要がある。

### 4. モンキードッグの運用実績

- ①平成20年1月から平成20年12月までの出動回数
  - (1)近隣のパトロール・追い払い 7頭の合計で1,220回
  - (2)合同での追い上げ 16回(平成18年6月以降)